

<別 紙>

平成 21 年度 懐徳堂記念会創立 100 周年記念事業報告書

- (1) 史跡整備：中井碩果・蕉園・履軒（誓願寺）の墓石修復 ……写真①②
- (2) 実相寺の五井蘭洲の墓石に説明板を設置 ……写真③
- (3) 阪大リーブル刊行 『市民大学の誕生』（平成 22 年 2 月刊） ……写真④
- (4) 『懐徳堂記念会百年誌』資料調査・座談会

(5) 募金活動について

■既法人会員への寄付依頼状を 69 社に発送(平成 21 年 6 月 22 日)

うち 15 社を訪問依頼

■新規法人への寄付依頼状を 39 社に発送(平成 21 年 8 月 3 日、10 月 23 日)

■募金活動の成果

i 募金目標額：1400 万円

ii 寄付金総額：1167 万 7000 円 / (22 年度は 60 万円→ 1227 万 7000 円)

・個人寄付金：250 名 236 万 7000 円

(20 年度は 189 万 6000 円) + (21 年度は 47 万 1000 円)

・法人寄付金：36 法人 931 万円

(20 年度は 5 万円) + (21 年度は 926 万円) / (22 年度は 60 万円)

iii その他

・大阪大学のシンポジウム助成 300 万円 (予定)

・大阪大学文学研究科の助成 50 万円 (予定)

写真①



写真②



写真③



写真④



【参考資料 A】

1 創立 100 周年記念事業 平成 19 年度・20 年度実施分

I 懐徳堂の史跡整備

- ①五井蘭洲（実相寺）の墓石修復(平成 20 年度)
- ②HP 懐徳堂史跡マップの作成（平成 20 年度）

II 記念出版

- ①阪大リーブルの刊行助成『墨の道 印の宇宙』『江戸時代の親孝行』（平成 20 年度）

III 募金・勧誘活動

- ①大判パンフレット作成、振込用紙印刷 など(平成 19 年度)

2 創立 100 周年記念事業 平成 22 年度予定分

I 事業収入（収入合計 1606 万円）

- ①募金収入 883 万 8126 円
〔100 周年残高 821 万 5131 円〕 + 〔振替 2 万 2995 円〕 + 〔22 年寄付 60 万円〕 = 883 万 8126 円
- ②大阪大学のシンポジウム助成 300 万円（予定）
- ③大阪大学文学研究科の助成 50 万円（予定）
- ④通常経費振替 90 万円（会誌『懐徳』特集号）
- ⑤祝賀会参加費 25 万円（有料参加者）
- ⑥積立金取崩（22 年 3 月末 1020 万 7627 円） 257 万 1874 円
(23 年末の澤基金 + 積立金残高 763 万 5753 円の予定)

II 100 周年記念事業の内容（支出合計 1606 万円）

①シンポジウム 560 万円

『総合探求：21 世紀市民の「学びのかたち」

— 懐徳堂記念会のこれまでの 100 年とこれからの 100 年 —』

平成 22 年 11 月 27 日 13:30～17:00 於：NHK 大阪ホール

基調講演：堺屋太一 パネリスト：コシノヒロコ、津田和明、鷺田清一

司 会：森西真弓、加地伸行

主 催：財団法人懐徳堂記念会、大阪大学、NHK 大阪

NHK 番組「TV シンポジウム」（「日曜フォーラム」を改編）で放送予定

②資料展 132 万円 『懐徳堂展 — 大阪「知」の源流 —』於：大阪歴史博物館 8 階特集展示室

平成 22 年 10 月 27 日（水）～12 月 20 日（月）

主催 大阪大学・大阪歴史博物館・財団法人懐徳堂記念会

③式典・祝賀会 90 万円 平成 22 年 11 月 27 日 於：大阪大学中之島センター9 階

④シンポジウム・資料展の情宣費 110 万円

⑤記念出版 714 万円

- (1)『懐徳堂記念会百年誌』（A5 版、ソフトカバー、182 頁、1000 部）
- (2) 阪大リーブルの刊行助成『懐徳堂ゆかりの絵画』『漢学と洋学』
- (3) 会誌『懐徳』「100 周年記念シンポジウム」の特集号